

東京新聞

五日二十月五年二

定価 一月五元 三月十二元 半年二十元 一年四十元

郵税別五厘 印刷所 東京市本町五丁目

發行編輯人 川崎文治

理想選舉ノ模範トナレ

新妻文吾君

平町有志會一同

平町後援者一同

五月二十三日ヨリ

西洋御料理

開店 御披露

五月二十三日ヨリ

カフエース・ブラン

カツレツ金二十錢  
カレーライス金二十錢  
ハヤシライス金二十錢

其他店ヨリ 五錢引

平町會議員 佐藤芳松君

最適任者ト認め極力具當選ヲ期ス

研古町有志一同

研古青年一同

醬油と味噌

福島縣平町

鹽屋山崎本店

電話長二七番

振替東京一九七五五番

上野東車坂町四三

東京支店

電話長淺草五七二八番

振替東京六八三一二番

赤心堂病院

内科・外科・花柳病科  
耳鼻咽喉科・婦人科

平町田町電話四七五番

松村病院

内科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科

平町南町電話一〇七番

全刺子ト染物

柏の傳

拍屋染物店

關西の旅から (五)

警城高女旅行隊

昨日の疲れで今朝は先生に起されてやうやく起きました。直に用意して八時半に宿を出て動物園に向ひました。かつて見たこともない想像もつかない様なものが澤山ありました。南部のものが北部のものを總てめぐらさく目にうつり耳にひびき滑稽な猿さんのは私共一行の旅の疲れをなぐさめてくれれば、又鳥の女王とも云はれて居る鶴の勇姿を見可愛い「あうむ」の人の口まねする様を見種々のはく製も見ました。又日本に一つしかないインクラインも見ました。それから一同揃つて智

恩院へ向ひました此建物は五百年前に有名な左甚五郎の作で随分立派なものであります。此院には七つの不思議があり左甚五郎の忘れ傘、鶯張りの廊下、山門の龍、眠り猫、柄子、拔雀、つりがねの七つで外國迄聞て居るそうです。それからお茶の接待を受けて直に清水寺へ行つて参詣しました。歌などがある清水の舞臺を見て、音羽の瀧も見ました。音羽の瀧は昔から枯れたことがないそうです。そこを立つて三十三間の堂に行き三萬三千三十三体の佛様に禮拜して晝食をたのめ又宿へもどつて電車桃山へ行き明治天皇の御陵を拜しました。それから

二代目楠公と云はれた乃木神社に参拜し當時の記念物を見乃木郎を參觀して昔の如何に質素であつたかを想像しました。それから自働車で桃山停留所へ行き電車で宇治へ行つて鳳凰堂を見ました門が閉つてあつたので皆残念に思つて居りました。幸に門を開けてくれた内部を案内してくれました。あたりが暗かつたのではつきり見る事が出来なかつたのが残念でした。此の堂は藤原頼通が造つたもので屋根が鳳凰の翼の形をなしています。此の鳳凰が止つて居ました此町は茶で有名で随分繁昌して居りました電車桃山にもどつて宿屋へ着き一日の汗を流して床に入りました。

遠藤パン

小僧さん入用 喰へてたいしい

洋金 各種

西目 ツルヤ 電話四〇

渡邊藥局

品藥料染 劑調方處

目丁三町平

郎五政邊渡

(向局便郵)

米松

碁城建物株式會社

平町五丁目電話五一八番

眞に是れ鬼に金棒!

耐火耐震耐久力の絶大なる

日本コンクリート鐵網

拔群優秀なる斯界の權威

磐城セメントを推奨す

最も經濟的に然も超越せる無比の良材

特約代理店平町五丁目

久釜屋商店

電話園九番 一三九番

遂にハーマーリン時代來る!

「ハーマーカよりハーマーリンへ.....接せよ!!!」

一流大家の藝術を讃へよ!!!ハーマーリンの音色を

抱けよ優美なるハーマーリンを

行けよ!!!晩春初夏の野山に!!!

ハーマーリン特約店柴田書店

平町四丁目

# 利權屋の一味に

## 乗せらるゝ勿れ

利權を放棄せぬ處に

彼等の陰謀がある

野崎満藏君は「再び大瀧發電所と電氣町管に就て」と題する印刷物を一昨日來平町に配布した、此事に依つて見ても彼等一派が如何に利權慾に執着心の強いものであるかを證據立て、居るが其中の一節に

水利權の許可に果して虚偽とか不正とか云ふことが事實ありとすれば監督官廳は絶対に許可は致しません若し許可に錯誤ありとすれば當局は直に其許可の取消を爲すべき事は明かに法文の規定する處であります

とある、大瀧發電所の許可を受くる際に當つて平電氣會社と好間江筋組合との間に取交はした契約條件の中に平町が同意するに非らざれば契約條件に効力が發生しないとの意味の條項あるに拘らず是の條項を削つて徹頭徹尾同出願に對して

**同意を** 表せるが如く装つたのは確かに許可を得んが爲めの手段として一種の詐術を行つたものと見なければならぬ、然らば斯かる不正手段を弄して迄も獲得した水利權は是れ官廳を偽造したものであつて止當なものとする譯には行かない、故に官廳が

**其許可** を取消さないのは虚偽でも不正でもないと彼等の云ふ事は泥棒を以つて條件とす

**常磐片々**  
朝の六時からカンテラ下げて投票するのも町の爲め

確かに然り、然ればこそ平町彼場は前例を破つて朝の六時から夜の七時迄の永い時間を投票に充つ

此前例破りの十三時間に依つて町將來の運命は卜さる

何人に投せらるゝも可  
但し眞に私利私慾を離れて平三萬町民の爲めに働きてるの士を當選せしむべきを

營の誠意があるものなれば何故思ひ切つて因念付きの水利權を放棄する事が出来ないののであるか、彼等が何や彼やと

**兎角の** ゴマ化し文句を連ねて飽迄水利權を把持して居やうとする眞意は當然その權利を平町に賣り付けんとする陰謀が含まれて居る爲めであると云はれても彼等には報ゆる一言もないであらう、故に此際彼等が今更ら説いて居る處の電氣町管等は

**前例にない投票時間**  
朝の六時から夜の七時迄  
特に町當局の注文

平町に於ける町議選舉は卅日平商業學校にて執行さるゝ筈であるが労働者等の便宜を圖るの外一人の有けん者が投票に要する時間を約二分間と見積り三千人十時間を要する處から三時間の餘裕を見て午前六時から午後七時迄を投票時間と定め、しかし是れは一人二分間宛の連續であるなれば何等の混雜を來たさなないが名簿と突合せに暇をとつたり投票者が或る時間に限つてトギつたりする様な事があつては右の投票時間に有けん者全部の投票を果す事が出来なくなる様な憂ひ

**取り立てぬ**  
玉代を値上

平町料理屋藝妓屋兩組合のエアース土用中は食物をへらさねばなりません、カステラならば魚の頭大のも一つを五尾に對して午前一度文興へます。其他には絶對にやらぬ事。土用すざたら分量には別に制限はありませんがやはり、午前中一度でよろしい。一月頃までこうしてやれば冬は何

**金魚のかひ方**  
容器は幅の廣い硝子盤が最も結構です。水は土用中までは一日おき、暑中は朝夕二回取りかへます。餌はカステ、イトメ、アカゴ、ウ



家庭庭欄

民一同は旅行行列提灯行列長持屋臺行列並に假裝行列をなして全町を練り歩く一方關東北煙火競技大會では數千本の仕掛け煙火を絶え間なくうちあげその美麗に觀客をアツと云はせ空前絶後の大股賑を極めた

**野菜の出荷**  
幾分溢り勝ち

石城郡下各農村にては昨今漸く農繁期となつて來たので野菜類の出荷が幾分溢り勝ちとなつた、平町の野菜相場は多少上騰したが期節もの、大根かぶ等は遠く茨城方面よりの出荷が多い

**大麥採種調査** 石城郡にては二十八日より三日間大麥採種調査をなすが調査町村は左の如くで調査員は農事試験場石城分場の伴野技手である  
植田、平窪、好間、高久飯野、小川、山田、錦太郎(四六)

懸案となつてゐた遊興税問題に關して二十三日正午より田町鈴木亭に於て兩組合員集合し種々協議を重ねた結果、玉代に四錢を遊興税として加へ六十四錢とし別に遊興税として取立てぬことに満場一致可決し午後四時散會した

**石城學級數** 石城郡内小學校の本年度編制學級は尋常校四百八十八、高等校百八分教室卅二で前年度より八學級を増加した

**郵便箱を盗んで投棄**  
爲替拔取か

石城郡窪田村大字酒井大日本炭礦株式會社勿來礦業所へ建設しある郵便箱を盗んで約一ヶ年麥畑へ投棄してあつたのを去る廿日發見尙附近を搜索したる結果書狀ほか葉書等紛亂あり其上封書を破りたる形跡があるので多分犯人は爲替券を窃取した模様で植田署でも極力犯人の嚴探中である

**平第一學藝會** 平第一小學校では二十八日父兄懇話會を開催し兒童學藝會を催すと

**平町人事**  
▲出生  
△一丁目二〇 當時茨城縣助川町荒井彌太郎氏二男辰雄  
△二丁目二 當時東京市小石川區丸山町小泉英次氏四男直〇

**募集** 文藝其他投稿を募集します  
▲婚姻  
△石城郡内郷村大字和麻 根本隆政氏(三三) 胡摩澤花澤(二二)  
▲死亡  
△親近町當時石城郡赤井村 會川覺太郎(四六)